

# 字

## 広報

# No.66

平成29年6月1日発行

発行●育心会 広報委員会

住所／盛岡市西松園二丁目5番1号

TEL 019-661-6266

FAX 019-661-6260

E-mail matsuzono-heights@ikushinkai.jp

http://www.ikushinkai.jp/

(施設長 高橋勝彦)



満開の桜の下で



社会福祉法人 育心会

- 軽費老人ホームB型松園ハイツ
- 特別養護老人ホーム 第二松園ハイツ
- 地域密着型介護老人福祉施設 北松園ハイツ
- 第二松園ハイツデイサービスセンター
- 第二松園ハイツヘルパーステーション
- 第二松園ハイツ居宅介護支援事業所
- 盛岡市松園・緑が丘地域包括支援センター(おとしより相談センター)
- 育心会福祉交流館「暖炉の家」

私ごとの恥ずかしい話になるが、高齢期を迎えてなお、自分自身の老後についてあまり考えることがない。できれば病や死など不幸の世界から遠ざかりたいとの本能が、思考を停止させているのかもしれない。とはいえ、人生の終末について、悩みや不安はいっぱいある。

十年前ほど前、週刊誌に初登場した「終活（しゅうかつ）」。当時、若者たちの「就活」をもじった言葉として関心を集め、瞬く間に広がった。折しも日本社会は、高齢者世帯が増えるなか、死後の葬儀やお墓の準備、相続など、避けて通れない問題をたくさん抱えていた。「終活」の一言は、皮肉にもこれらを浮き彫りにさせたのである。

最近、当法人の地域包括センターに、地域の方がたからの相談が相次いでいる。その中心は「介護」に関するもの。骨折などちょっとした怪我が理由で寝込んでしまい、認知症を発症した人もいる。介護認定やサービスの勧め、そして入所施設の紹介など、年間三千件を上回るようになつた。見方を変えればお墓の準備や相続手続きの前に、まず生きていくための課題に取り組まざるを得ない現実がある。

残された老後を充実し、前向きに生きるためにどうしたらよいか。家族や地域との人間関係を確かなものとし、自分にふさわしい介護サービスを今のうちから決めておくこと。すなわち、これから始まる生前の「終活」の大切さである。私も終活について多少の関心を抱くようになった。

### 現実を生きるための「終活」



# 写真でつづる 2017 春



貯金ならぬ  
“貯筋”体操  
で元気を  
蓄えましょう



## 先進の地域福祉を講演 “福祉で町づくり”に意気込み

### 松園・緑が丘地域包括セミナー



大橋謙策先生

テクノエイド協会理事長  
日本社会事業大学名誉教授

おとしより相談セン

ター主催の「松園・緑が

丘地域包括セミナー」

が福祉交流館暖炉の家

で開催され、全国的に著

名な地域福祉研究実践

の第1人者である大橋謙

策理事長が講演しまし

た。セミナーには、医療・福祉関係者、民生児童委員、町内



大橋先生は、全国各地を回り、住民主体の活動を支援し、住みよい地域づくりに貢献しています。今回は、「福祉で町づくりを進める—松園・緑が丘地域の10年先を見据えて」をテーマに講演してくださり、全国各地の事例にも触れながら、今後の新たな地域包括ケアシステムの構築として、児童、高齢者、障がい者など全世代対応型・全世代支援型のワンストップサービスシステムや全世代交流型拠点の整備・見守り、支える住民力の強化、専門多職種の連携など課題が提起されました。

ユーモアを交えた講演に聞き入った参加者は、いま地域ができるところを確認し、さらに住みよい町づくりに向け意気込みを高めたようでした。

## 学びを共有しさらなる資質向上へ

### 外部研修 復命報告会



「伝える技術の向上」と題して報告を行ったおとしより相談センターの金浜相談員からは、言い回しの仕方によって受け取る印象が異なること、対話の際に留意すべき技術などが紹介されました。参加者はご利用者ご家族との「ミニ」ケーションに活用しようと、真剣にメモを取り聞き入っていました。

居宅介護支援事業所の佐々木所長は、ドイツ・オーストリアの視察研修について報告しました。参加者は、日本と比較しながら関心を寄せ聞き入り、自分の事業所に取り込めると、ないかと考えを深めたよう



通所介護事業所の上村副主任ケアワーカーは、「レクリエーションのあり方について」報告し、レクの意義や実施時の留意点等についての説明に加えて、歌にあわせて手足を動かすなど複数の動作を同時に行つ「デュアルタスク」の実演を行いました。会場の参加者も挑戦し、意外な難しさに会場は笑いに包まれました。

「地域を支える力を応援 育心会 民生委員福祉講座」をテーマにした研修会が、3月22日に、福祉交流館「暖炉の家」にて、松園地区民生委員福祉講座が開かれました。「民生委員の精神と役割を考える」をテーマに高橋施設長が講演。大正時代に遡り、民生委員制度の先駆けとなつた江世顧問制度から現在に至るまでの歴史や戦後の時代を動かした民生委員の業績を紹介しました。

## 地域を支える力を応援

### 育心会 民生委員福祉講座

その後、おとしより相談センターの菊池所長から、地域包括支援センターの利用や新しい総合事業について講話しました。



## 気づきと提案活かし よりよいサービスへ

### 福祉サービス向上第三者懇談会

去る2月16日、「福祉サービス向上第三者懇談会」が開かれました。これは、ご利用者やご家族からの意見や提案を改善に役立て、現場職員の気づきをサービスに反映させるべく年2回開催しています。法人役員やご家族代表、事業所職員が参加し、半年間の取り組みを点検

# 平成29年度 事業の重点 一地域に貢献する強固な法人を築きます

## 4つの重点項目

### 社会福祉法人制度改正に沿った法人運営

改正社会福祉法人制度の趣旨に沿った法人運営を行うとともに、公益性・非営利性を活かし、地域の多様な生活課題や福祉ニーズに対応した取り組みを推進します。

### 良質な福祉サービスの実施

サービス内容の充実、質の向上を進め、地域に暮らす高齢者とそのご家族に安心・安全をもたらす、真に信頼される社会福祉法人を目指します。

### 福祉人材の育成

職員待遇の向上を図るとともに、職務能力の開発等人材育成に取り組みます。サービスの要となるリーダー層の育成に重点を置き、地域を支える福祉人材の育成を推進します。

### 中長期財政計画の策定

今日の社会福祉法人を取り巻く環境が大きく変化する中で、これから地域における生活課題や福祉ニーズを分析整理し、中長期的視野に立った計画的な財政運営を行うため、次期の新たな計画策定に取り組みます。

## 職員人事異動のお知らせ

定期人事異動に伴う辞令交付式が4月3日執り行われ、18名の職員に辞令が交付されました。このうち副主任以上の昇格者は次のとおり。



澤田 敦  
地域包括支援センター  
所長補佐



木村 裕  
第二松園ハイツ  
生活相談課長補佐



田中 さとこ  
第二松園ハイツ  
生活相談課長

佐賀陽一郎	地域包括支援センター 主任社会福祉士	久保 高子	第二松園ハイツ 看護主任
宮 恵	通所介護事業所 主任ケアワーカー	野坂 拓美	第二松園ハイツ 副主任ケアワーカー
藤村 恒子	第二松園ハイツ 副主任ケアワーカー	細野 大樹	北松園ハイツ 副主任ケアワーカー
吉田 祐子	北松園ハイツ 副主任ケアワーカー	狩塚 浩	通所介護事業所 副主任ケアワーカー
富手 陽子	通所介護事業所 副主任ケアワーカー	上村 瞳	通所介護事業所 副主任ケアワーカー

去る3月7日と10日の両日、育心会では評議員会と理事会をそれぞれ開催しました。会議では、新社会福祉法に基づく定款変更をはじめ所要の改正を行ったほか、平成29年度事業計画・予算案について審議し、全会一致で決定しました。また、任期満了に伴い理事と評議員が選任され、新たな体制が築かれました。

法人代表の野原修一會長は「社会福祉法人の役割がさらに期待されています。役職員が心一つに、栄誉あるこれからの事業に積極的に取り組んでまいりましょう」と決意を述べました。

29年度事業計画では、4つの重点項目を掲げています。その内容はいずれも地域に支えられ信頼される育心会を目指すものです。



## 役員・評議員改選

法人役員、評議員の改選があり、新たな体制でスタートしました。（肩書は3月10日時点）

監 事 会 長  
監 事  
常務理事  
（敬称略）

米田 安部 和野 熊谷 川尻 白井 石井 高橋 野原  
喜孝 武雄 喜美男 秀雄 康雄 實 勝彦 修一  
ハツ工

渡邊 松橋 増田 日野 千葉 金野 成雄  
進 実 文男 美穂子 野村 千鶴 健一 悅子  
（敬称略）

松園地区老人クラブ協議会会長	社会福祉法人愛育園園長
松園地区民生児童委員協議会会長	緑が丘地区振興福祉協議会会長
松園地区民生児童委員協議会会長	緑が丘地区民生児童老人福祉センター館長兼所長
北松園児童老人福祉センター館長兼所長	北松園児童老人福祉センター館長兼所長

# Information



皆様のご支援ご協力に  
感謝いたします

※平成29年1月～平成29年5月  
(順不同 敬称略)

■ご寄付・ご寄贈

- \*大塚富夫
- \*小川恵子
- \*小川哲雄
- \*佐藤英憲
- \*株熊谷工務店
- \*松園小学校児童の皆様

■交流

- \*愛育園・愛育園子育て支援センター
- \*北松園風の子保育園
- \*北松園小学校
- \*松園中学校
- \*盛岡農業高等学校

■ボランティア

- \*もりおか傾聴ボランティア

—ありがとうございました—



## 松園小学校の皆様ありがとうございます

一車いすを寄贈いただきました

児童の皆さんがあなた活動として長年取り組まれてきた、アルミ缶回収での収集金を使い、第二松園ハイツデイサービスに車いす2台を寄贈してくださいました。

ご利用者様からは「とっても乗りやすい」と喜びの声が聞かれています。松園小学校の皆様、温かい気持ちをありがとうございました。



## ハイツの主な行事予定(6月～)

- |                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| ● 6月1日 チャグチャグ馬コ交流会 | ● 6月下旬 評議員会         |
| ● 6月28日 地域包括企画運営会議 | ● 7月5日 北松園ハイツ運営推進会議 |
| ● 7月13日 在宅介護者茶話会   | ● 7月20日 福祉サービス向上委員会 |
| ● 8月5日 第二松園ハイツ夏祭り  | ● 8月10日 北松園ハイツ夏のつどい |
| ● 9月17日 育心会敬老記念式典  | ● 10月1日 ハイツ秋祭り      |

この4月に新居を購入し、新たな環境での生活をスタートしました。  
小さいながらも夢のマイホーム。引っ越し当初は不安でキヨロキヨロ戸惑っていた1歳の娘も、今では、家の端から端まで超高速ハイハイを披露しています。遊びのひと遊ぶ子供の姿を見て、買つてよかつたなあとしみじみ。  
さあ、お父さんは今日も頑張るぞ！

(堀内)

先日の予防教室で、童謡や唱歌を歌いました。小さい頃は、何も気にせず歌つていた歌詞も、今は言葉の意味や情景を考えながら歌えるようになつてきました。さらに言葉や情景のイメージを感じ取つていけるよう、歳を重ねていきたいです。編集委員になり、広報や普段の業務の中でも、言葉を大切にしていかなければ！と気を引き締め直している今日この頃です。

(金近)

爽やかな新緑の季節ですが、僕は少し涙と言えば、僕の長男も7歳になりました。涙と一緒に見られると、大粒の涙がボロボロと。そんな姿を横目で見ながら、このまま純粋で優しい子に成長してほしいなと思つたのです。

(立花)

**あとがき**

編集委員の